

田畑や山林の担い手が減っている…集落や里山の維持が難しくなるかも…
どうやったらもっと多くの人が関心をもって、“農”や“森”にかかわるようになる？
どうやって“担い手”につなげていく？

南丹の森を知る

獣害や自然災害の影響など、日々の暮らしにも密接につながっている森の課題。
「南丹の森を知る」は、生物多様性、林業、学びや遊びの場としての森林の利活用、の3テーマを切り口に、
森の現状や課題を共有し、今後どのような取り組みやかかわりづくりができるのかを模索する場です。

第1回 11月4日(月・祝)

「獣害から森を再生する自然配植とその技術」

人里で田畑や庭を荒らす動物たちの元の棲み処である森をどうやってもう一度豊かな森にし、崩れてしまったバランスを作り直すのか。自然配植は「自然のもつ豊かで多様な力をうまく生かしながら緑を創造し保全する技術」と言われています。南丹の森を歩き、その考え方と技術を学びます。

講師 自然配植技術協会会長 高田研一さん

ファシリテーター 特定非営利活動法人テダス 田畑昇悟さん

9時半集合@「天引村倶楽部」

(住所:園部町天引下北 3-1)

講義+山林視察+ディスカッション

15時頃 終了予定

対象:獣害に困っている地域住民、森の再生に関心のある方、地域や個人所有の森の再生を实践したい方、など
20名程度

第2回 11月30日(土)

「林業の施業地視察@日吉町と

市民による取り組み事例@びわ湖源流に学ぶ」

利活用の激減による森林の荒廃や自然災害でのさまざまな森林被害など多くの課題がある中で、“林業”が担う役割とその担い手育成について、多様な林業の事例から考えます。

講師 日吉町森林組合 堀田暢さん&朽木 GreenKONG 廣清乙葉さん

ファシリテーター 自伐型林業家 林益郎

9時半集合@「日吉町森林組合」

(住所:日吉町殿田尾崎 8-1)

日吉町森林組合施業地視察

+事例紹介+ディスカッション

16時頃 終了予定

対象:林業に関心のある方、林業従事者、山主、地域の森/山の整備をしたい方、など 15名程度

第3回 1月19日(日)

「“痕跡探し”で森の動物を知る」

南丹の森にはどんな動物がいて、どんな生活をしているのでしょうか?“フィールドサイン”と呼ばれる動物の痕跡を探しながら、森の生き物たちとつながる学びや体験の場づくりを実際に体験し、実践につなげます。

講師 南丹 Wildlife tours 榎本拓司

ファシリテーター 特定非営利活動法人つむぎ 前田敦子

10時集合@「ハピロー!の森京都」事務所前

(住所:南丹市日吉町天若上ノ所 25)

講義+体験+ディスカッション

15時頃 終了予定

対象:森を活用した環境学習や遊び場づくりに関心のある方、教育現場にかかわる方、など 15名程度

<3回共通事項> 参加費:1,000円(いずれも資料、保険代含む)

申し込み:名前、電話番号、参加希望の回を tsumugi.nantan@gmail.com にメール

持ち物:昼食、飲み物、筆記用具 服装:森で活動できる服装、歩きなれた靴

主催:特定非営利活動法人つむぎ

TSUMUGI 問い合わせ:担当 ドワイヤー tsumugi.nantan@gmail.com

つむぎ

この事業の実施には独立行政法人環境再生保全機構「地球環境基金」を活用しています。

